

令和2年度の学校評価

ア 自己評価結果等

<p>前年度の重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る。 2 学校いじめ防止基本方針に基づき、すべてのいじめの根絶を図るとともに、情報モラルを向上させる。 3 適切な情報提供を行い、確かな進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。 4 外部との連携を充実させ、学校全体でのESD活動を推進する。 5 「教員の多忙化解消プラン」に基づき、業務改善に向けた学校マネジメントの推進を図る。 6 保護者・地域社会に対して、積極的に本校の取組を発信する。 		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>生徒指導 (生徒指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの向上を図る。 ・学年や教育相談部との連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「防犯教室」やHR指導、風紀委員活動などを通じて、情報モラルについて取り上げ、身近なテーマとして考えさせる。 ・年度末にはアンケート調査により、意識の変化等を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や誹謗中傷掲載が自身及び被害者だけではなく、学校、家庭、地域社会に多大な影響を与える可能性があることを理解させる。 ・トラブルの事前予防や、事後の適切なフォローが行えるように、学年や教育相談部との連携を密にする。
<p>(2年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに物事を捉え積極的に取り組む姿勢を育てる。 ・リーダーの育成と学年の団結力を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学やHRなどを活用して、自分の前向きな考えや行動を発表する中で、相手の考えや思いをくみ取る力や自分の考えを伝える力を育てる。 ・学校行事では役割を分担し、各自が責任感をもてるような取り組みを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択を早めに考えさせ、必要な準備に十分時間をかける。特に看護、医療関係、公務員希望者には十分な学習時間を確保する。就職・進学希望者ともに面接で考えをしっかりと伝えることができる力を養う。また、卒業後に必要となる知識・能力を充実させる指導を行う。
<p>(1年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確立と検定取得への意欲的な取り組み。 ・部活動と学業との両立。 ・生徒指導課と連携し、遅刻・身だしなみ指導の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、学年全体で集まる機会が少なかつたため、次年度は、集団を意識した行動ができるように、学年全体で集まる機会をできるだけ多く取り入れていきたい。 ・学校の中核を担う学年として、自ら進んで行動できるように働きかけたい。
<p>学習指導 (教務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・協働的な学び」を意識した授業展開の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科主任会にて、可能な限り主体的・対話的で深い学びについての情報を提供・共有し授業展開へと結びつける。 ・公開授業週間において、教科や担当科目の枠を越えて、様々な授業を参観し、指導方法の共有へと結びつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の授業をベースとし、参加型授業をバランスよく取り入れ、学んだ知識を発表する場を設けることで、学びの質を高め、学ぶことの楽しさを理解させる。 ・授業を参観し合うことで、自身の指導技術の向上と研鑽に務めることに主眼を置く。また、教科の特異性を知る機会としても活用する。
<p>(経理科)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的で深い学びの視点による経理教育の充実と授業展開の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計処理について個々の意味を深く理解させ、ビジネスの視点から学んだことを生かし、判断・分析をさせる。 ・外部講師の活用により、会計分野に興味をもち、より深く理解させ、主体的に上級資格に取り組むことができるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に自ら学び、深く考えて理解させることを心がけ、企業を取り巻く経営環境に興味をもたせるとともに、会計情報からの確かな判断・分析をさせる。 ・経理の専門家として活躍できる人材の輩出を目指し、対話的で深い学びができるよう授業展開を工夫する。
<p>(事務科)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラム実施に向けて、準備を進めていく。 ・発展的なマナー教育に対する効果的な指導方法の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学科会において、新カリキュラム実施に向けて、その内容について検討していく。 ・講師招聘や連携教育を実施し、マナーを習得させ、実践できる機会を数多く設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会人として通用するためのビジネスマナーや倫理観を持ち合わせ、他者と協働して地域ビジネスを展開できる人材の育成」を事務科が目指す生徒像として、一年間、取り組むことができた。また、小学科会を定期的に開催し、新カリキュラム実施に向けて、その内容について検討することができた。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学 習 指 導 (情報処理科)	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの先行実施について準備を進める。 ・ICT機器を活用したアクティブラーニングについて研究を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学科会を活用し、新カリキュラムの具体的な実施内容についてコンセンサスを図る。 ・昨年度までのアクティブラーニングに加え、ICT機器を活用した教材とその評価方法について研究を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムの具体的な実施内容等についてコンセンサスを図ることができた。 ・従来のケース教材について、ICT機器を活用した教材へとブラッシュアップを実施した。 ・ルーブリック評価及びフィードバックの手法を確立し、担当者間の共通評価を実施した。
(国際ビジネス科)	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムについて準備する。 ・連携企業と協働して生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学科会を開催し、新カリキュラムにおける科目の授業内容を検討する。 ・連携企業と連絡を密にとり、発表や発言する機会を多く設定し、自らが成長を実感できる授業展開をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラムについて科の中で情報共有し、授業で一部実施をすることができた。 ・生徒一人ひとりの適正・能力に応じた授業が展開でき、生徒が成長を実感することができた。
(図 書 課)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進と環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のみならず職員に対しても図書館の利用を積極的に働きかけるとともに、魅力ある図書館づくりを心がける。 ・データベース化が完了したことにより不要になった備品等を処分整理するとともに写真等のデータ化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の期間があったためか、図書の貸し出し数は減少してしまっただが、学習利用等の来館者は増加した。 ・写真のデータ化を進めることはできたが完了できなかった。
進 路 指 導 (進路指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・変化する社会に対して生徒が柔軟に対応できるようにするために、確かな進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度大学入学者選抜改革が行われる。そのため、正確で最新の情報を、生徒及び保護者に伝える。 ・生徒が自己の特性等と将来の進路との関わりから「夢のマッチングフェア」、「卒業生による企業説明会」及び「社会人講話」を活用し、最新の企業・学校の情報を提供し、確かな進路実現に向けたキャリア教育を行う。 ・「新学習指導要領」改訂の趣旨を熟知し、本校における今後のキャリア教育の充実に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、就職日程が大幅に変更されたが、3年学年会と連携して、適切な進路指導を行った。
(3年学年会)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の能力・適性の自己理解と個性の伸張を図り、多様な進路希望の実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が自らの進路を主体的に考え、より良い選択ができるように、適切な情報提供及び助言や指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により、就職試験の開始が約1か月遅れるなど、例年にはない対応をとらなければならない場面が多くあった。就職・進学いずれにおいても最終的には生徒一人一人が希望する進路選択をすることができた。
生 徒 会 活 動 (生徒会課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の活性化 ・生徒会会計の適正化 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛商祭及び球技大会を活性化する。 ・生徒会会計の収支の安定化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた条件下で学年や分掌と連携して学校行事を活性化することができた。 ・昨年度までの問題点を解決しながら、コロナ禍によって発生した問題にも対応することができた。
教 育 相 談 (保健課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー来校日を活用する。 ・関係の職員と情報の共有を図りながら、適切な対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱える生徒について、スクールカウンセラーに繋げることはできた。また、関係の職員間で情報の共有をすることができた。しかし、早期に解決するケースが少なく、問題が長期化することが多かった。来年度以降もスクールカウンセラー来校日を活用し、教育相談体制の充実を図っていきたい。
P T A 行 事 (総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA行事及び中学生体験入学等の諸行事を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の内容や意義を教職員に周知し、理解や協力を得る。 ・行事の内容を検討し、充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とPTAが連携し、コロナ禍におけるPTA活動を模索した。役員の方々に主体的に活動に関わっていただいたおかげで、諸行事を無事に実施することができ、オンライン研修会など新しい取組にも挑戦することができた。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
情報管理 (教育情報課)	・ 情報通信技術 (ICT) の活用に関する環境整備及び情報の提供	・ 教室棟でタブレット端末が利用できる環境整備を行う。 ・ 職員会議を通じ、ICT 活用に関する情報提供を行う。	・ HR 教室でタブレット端末が利用できる環境を整えることができた。また、情報化推進研修を行い、ICT に関する情報を提供できた。 ・ 今年度の研修が年度後半からになってしまったので、次年度も継続して研修を行いたい。
総合評価	・ コロナ禍での休業期間、様々な学校行事が縮小または中止となり、生徒にとっては不完全燃焼の1年となった。学校にとっても初めての経験であり、改めて学校行事の運営方法や授業の在り方を考えさせられる年でもあった。その中で今までにないリモート配信での行事や授業を行うなど、先生方の協力によりこの1年乗り越えることができた。		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒がいきいきと楽しく活動できる学校づくり ・ 教職員にとってやりがいのある学校づくり ・ 特色ある活力溢れる学校づくり
自己評価結果について (中間評価より)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職・進学はともに良好であり、継続してその成果をアピールしていくことが生徒募集につながっていくと考えている。 ・ 心のケアが必要な生徒が増加傾向があるが、明るい声の絶えない学校づくりを心がけていきたい。 ・ 先生方の熱心な指導により、生徒は充実した学校生活を過ごせている。中学校説明会を頻繁に開催していくことで情報発信を行い、商業高校の良さをPRしていきたい。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の進路実現に向け、コミュニケーション能力の育成と家庭での学習環境の確立を図る。 ・ コンソーシアムの団体と連携した取り組みを積極的に展開することで、より主体的で協働的な深い学びの実現を図りたい。
その他 (学校関係者評価委員 から出された主な意見、要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウイルスによる感染拡大防止のため、年度末の評議員会の開催を中止した。
学校関係者評価委員会の構成 及び評価時期	<p>構成 保護者、地域連携・中高大連携・地域企業の関係者</p> <p>評価時期：10月、2月</p>